

「明治150年」関連施策各府省庁連絡会議（第2回）

議事概要

平成28年12月1日(木)
14:00～14:35
官邸4階大会議室

議事次第に沿って議事が進められた。その概要は以下のとおり。

○ 議題 筒井清忠 帝京大学文学部長からの説明

筒井文学部長より、資料1に沿って説明。その後、質疑応答が行われた。

- ・ 「明治150年」に際して、特に焦点を当てるべき明治期に対する取組は何か。
 - 明治というと維新を担った薩摩、長州などばかりに注目が集まりがちだが、それ以外の地域にも活躍した人材は数多くおり、そうした人々を掘り起こすことが大切である。また、明治という時代を築く礎になったという点で幕府側の人たちのことも十分に配慮されるべきであろう。
また、文学、映画など文化的要素に十分力を入れた施策を行ってほしい。近年、若者を中心に「教養」が衰退してしまっており、これから日本を文化的にも強くしていく上でも重要である。
- ・ 現在の女性や若者の励みになるような取組として何が考えられるか。
 - 日本全国で活躍したまだまだ知られていない女性たちを掘り起こしていくことが大切である。青年についても、日本各地の様々な青年活動については実はまだ知られていないことは多く、これらについても掘り起こしを進めていくべきである。
- ・ この時期に取組を進める意義について、どのように考えるか。
 - 近年、日本はこれまでと違ういろいろと困難な時期を乗り越えてきており、その意味ではむしろ明治期に重なるところは増えてきている。困難を乗り越えていった明治期の歴史を振り返り、将来につなげていくことは、その意味で新たな意義があると考えている。

○ 説明

原田内閣官房「明治150年」関連施策推進室長より、資料2に沿って有識者ヒアリングの結果等について説明。

以 上